

令和5年度 障害者虐待対応状況調査＜養護者による障害者虐待＞

参考資料3-1

相談通報

9,972件

〔主な通報届出者内訳〕

- 警察 (52.6%)
- 本人による届出 (11.4%)
- 障害者福祉施設・事業所の職員 (11.0%)
- 相談支援専門員 (10.5%)
- 当該市区町村行政職員 (4.1%)
- その他 (3.1%)

都道府県

89件

市区町村に連絡した事例 65件

65件

明らかに虐待でない
と判断した事例 24件

9,883件

市区町村

* 令和4年度に通報・届出があった事案171件を含む

事実確認調査の状況 (10,143件)

事実確認調査を行った事例 8,351件

うち、法第11条に基づく
立入調査 199件

事実確認調査を行っていない事例 1,792件

・明らかに虐待ではなく
調査不要 1,365件
* 都道府県判断の24件を含む
・調査を予定、又は検討中 191件

虐待の事実が認められた事例

2,283件

被虐待者数 2,285人

虐待者数 2,451人

(死亡事例: 1人)

虐待事例に対する措置

対応検討・調整中を除く被虐待者数 2,217人

- ① 養護者への助言・指導 45.9%
- ② 定期的な見守りの実施 41.6%
- ③ サービス等利用計画見直し 14.6%
- ④ 新たに障害福祉サービス利用 14.2%
- ⑤ 障害福祉サービス以外のサービス利用 5.4%

うち、虐待者と分離した人数 773人

- ① 障害福祉サービスの利用 45.0%
 - ② 法に基づくやむを得ない措置 6.3%
 - ③ ①、②以外の一時的保護 11.9%
 - ④ 医療機関への一時的入院 12.8%
 - ⑤ その他 23.9%
- ①～⑤のうち、面会制限を行った事例 26.8%

対応検討・調整中 68人

成年後見制度の審判請求 124人

うち、市町村長申立 65人

虐待者(2,451人)

- 性別
男性 (62.2%)、女性 (37.7%)
- 年齢
60歳以上 (39.8%)、50～59歳 (27.7%)
40～49歳 (15.6%)
- 続柄
母 (24.8%)、父 (23.7%)、夫 (16.1%)
兄弟 (11.2%)、その他 (9.8%)

虐待行為の類型(複数回答)

身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄、放置	経済的虐待
67.5%	2.3%	32.0%	11.2%	16.5%

市区町村職員が判断した虐待の発生要因や状況(複数回答)

家庭における被虐待者と虐待者の人間関係	43.0%
虐待者が虐待と認識していない	41.3%
虐待者の知識や情報の不足	23.7%
被虐待者の介護度や支援度の高さ	23.3%
虐待者の介護疲れ	23.3%
虐待者の介護等に関する強い不安や悩み・介護ストレス	17.5%
虐待者の障害、精神疾患や強い抑うつ状態	16.2%

被虐待者(2,285人)

- 性別 男性 (36.1%)、女性 (63.9%) ※性別不明: 1名
 - 年齢
50～59歳 (24.2%)、20～29歳 (22.5%)
40～49歳 (19.3%)
 - 障害種別(重複障害あり)
- | 身体障害 | 知的障害 | 精神障害 | 発達障害 | 難病等 |
|-------|-------|-------|------|------|
| 16.8% | 45.7% | 44.4% | 3.5% | 2.1% |
- 障害支援区分のある者 (50.0%)
 - 行動障害がある者 (27.0%)
 - 虐待者と同居 (84.5%)
 - 世帯構成
両親 (13.5%)、その他 (13.2%)、配偶者 (12.6%)、
両親・兄弟姉妹 (11.9%)、単身 (9.1%)、母 (9.3%)